

メールニュース

No.22-58
2022年10月26日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

2022年
日本平和大会
プレ企画

全国 学習と交流のつどい 危険なオスプレイは配備撤回を

YouTube 配信 11月1日視聴できます

東京・横田基地の米軍の
欠陥機C-27オスプレイ



2022年日本平和大会のプレ企画として、日本に配備されている米軍と陸上自衛隊の危険なオスプレイの配備撤回を求めて11月1日(火)午後4時~5時30分に全労連会議室をオンラインセッションに「全国 学習と交流のつどい」を開きます。

つどいの内容は下記のとおりです。
ユーチューブ配信で視聴できます。視聴方法は、ユーチューブの「安保破棄中央実行委員会のホームページのチャンネル」で中継しますので視聴をお願いします。

内容

- 国会議員あいさつ
- 報告 オスプレイの問題点と最近の動向
菅沼幹夫(神奈川県平和委員会)
- 各地の状況報告 沖縄、東京・横田
千葉・木更津、佐賀
- 討論、運動の交流
- 行動提起

「武力攻撃事態」への発展を想定 地対艦ミサイル、沖縄県内で初の訓練

(沖縄タイムス、10月22日付より)

防衛省統合幕僚監部は21日、日米共同の大規模な統合演習「キーン・ソード23」を11月10日から19日まで実施すると発表した。武力攻撃かどうか判別が困難な「グレーゾーン事態」から、日本が直接攻撃される「武力攻撃事態」への発展を想定。沖縄県内で初めて、陸上自衛隊八重瀬分屯地で地対艦ミサイルの展開訓練を行う。県内の民間地を使用する訓練の予定は現時点ではないという。日米共同で後方補給の拠点を開設し、装備などの補給品を輸送・集積する訓練も、統合演習としては初めて県内で実施。米軍那覇港湾施設(那覇軍港)や米軍牧港補給地区も使用する。(後略)

葉津
木更津
千木

住民の会 定例の監視行動

V22と民間機の接触が不安

市に要望書を提出、近日中に懇談

木更津の住民の会は、オスプレイの飛行停止をうけて、木更津市に要望書を提出し、近日中に木更津市との懇談をおこなう予定です。

10月19日、住民の会は定例



陸自オスプレイ配備反対でパレード
(船橋市、昨年12月)

の基地監視行動にとりくみま
した。朝からCH47とV22の
爆音が鳴り響いていました。
この日は、9時前からCH
47が3機で離着訓練を繰り返して
返していました。10時前になる
とV22が飛行開始し、離陸する
と約10分にわたってホバリン
グチェックをした後、周回飛行
をおこないました。集会飛行で
は、ヘリモードから飛行モード
への転換、再度ヘリモードに転
換し着陸をしました。モード転
換は20秒足らずでおこなわれ
ました。
こうした飛行訓練中も羽田
に向かう民間機が頻繁に飛行
しました。下から見上げると、
「くから高度差があるとはい
え、不安」という感想も寄せ
られました。
このホバリングチェック
は、飛行再開にともない、確
認した飛行手順にともなう
ものと考えられます。チェッ
クでは、前後左右、回転を繰
り返して行きました。
この後、CH47による離
着訓練は、4機での訓練
になりました。V22も2機
が飛行しました。
この間の調査で、V22の
操縦士や整備要員の養成も
木更津でおこなわれている
ことがわかりました。輸送航
空隊の要員も定数まで増や
した。
格納庫増設工事も本格化
し、用地の整地作業もすすん
でいます。工事作業車両が飛
行訓練中も出入りしている
ことも確認できました。
安保千葉・紙谷敏弘